

みえ福祉第三者評価結果

第三者評価機関名

株式会社三重銀総研

施設・事業所情報

名称：員弁東保育園	種別：保育所
代表者氏名：園長 服部 勝子	定員（利用人数）：120名
所在地：三重県いなべ市員弁町大泉新田 848	
TEL：0594-74-3989	
ホームページ： http://www.city.inabe.mie.jp/shisetsu/kosodateshisetsu/hoikuen/1002732html	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：昭和 50 年 4 月 1 日	
経営法人・設置主体（法人名等）：いなべ市	
職員数	常勤職員：21名 非常勤職員：2名
専門職員	調理師：4名（准看護師の資格を有する常勤職員1名有り）
施設・設備の概要	保育室7部屋、多目的ホール、プール、調理室、事務室

理念・基本方針

< 保育理念 >

一人ひとりを大切にし、豊かな自然の中で地域の人々とふれあい、たくましく生きる力を育てる。

< 基本方針 >

一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、保育を通してその福祉を積極的に増進するよう努める。

養護と教育が一体となった保育を通して一人ひとりの子どもが心身ともに健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し生きる喜びと力をはぐくむことを基本としてその健やかな育ちを支える。

豊かな自然環境を生かした保育の充実を図る。

子どもと保護者の置かれた状況や意向を受け止め、保育士の専門性を生かし保護者により良い協力関係を築きながら、子どもの育ちや子育てを支える。

日々の保育や子育て支援の活動を通して子どものニーズを受け止め、子どもの立場に立ってそれを代弁していくことも重要な役割と考え、行動する。

地域の人々や関係機関とともに子育てを応援し、そのネットワークにより、地域で子どもを育てる環境づくりに努める。

施設・事業所の特徴的な取組

- ・ 地域の高齢者との交流会（年 9 回）
- ・ 地域住民の指導による年間を通じた菜園活動
- ・ いなべ市防災ボランティアの指導による防災講習・災害時用スリッパ作り
- ・ 地域住民を招いて、子どもたちがお店屋さん体験をする「縁日ごっこ」

第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 28 年 7 月 29 日（契約日） ~ 平成 29 年 3 月 17 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1 回（平成 23 年度）

総評

員弁東保育園は、昭和 50 年に開設、昭和 56 年に現在地に移転したいなべ市立の保育園です。自然豊かな田園地域に立地しており、同市を東西に横断して走る三岐鉄道北勢線の電車を、園庭の隣に見ることもでき、地域資源を活かして、毎日の保育を行っています。

特に評価の高い点

- ・ 地域の高齢者との世代間交流を活発に行っている他、地域協力員の協力を得ながら、年間を通じて菜園活動に取り組み、収穫した野菜は給食の食材として取り入れています。こうした活動を通して、子どもたちは地域の方々に感謝し、地域を愛する心を培っています。
- ・ 園内のテラスには季節の花や生き物を展示し、豊かな自然と触れ合う園外への散歩の機会も多く持つなど、自然への関心を高める取り組みは、利用者アンケートでも高い評価を得ています。
- ・ 保護者が意向・要望を伝える仕組みとして、職員が作成した「メッセージポスト」をホール前テラスに設置しています。「メッセージポスト」は可愛らしいイラストが施された温かみのある木製のポストで、意見等を記入する用紙もイラストの入ったメッセージカードタイプにするなど、保護者が気軽に意向・要望を伝えられるよう工夫されています。日頃から保育内容等に対する改善提案が多く寄せられており、その仕組みが上手く機能しています。

改善を求められる点

- ・ ミーティングの内容や日常の保育にかかわる情報については、日常のコミュニケーションや連絡ノート等で職員間の共有がなされていますが、申し送りの内容不足や伝え忘れを指摘する意見が職員アンケートで見られました。今後は、必要な情報を関係者全員が漏れなく共有できるよう、連絡方法等の改善を図ってください。
- ・ 防犯対策については、定められたルールに従って対策がとられていますが、利用者アンケートでは外部からの侵入を不安視する意見がみられました。今後は、対応状況を保護者へフィードバックする等、利用者の安全・安心を更に高める取り組みが望まれます。

第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けて良かった事

園の強み（長所）と弱み（短所）を外部の目で整理をして頂くことで、自園を客観的にとらえなおすことができた。

園内の環境を様々な角度から見直し、職員全員でアイデアを出し合ったり工夫したりしながら整備することができた。

書類に関しては、ひとつひとつ整理し点検していくことで職員ひとり一人が理解し整えることができた。

自園の保育の優れているところを誉めて頂く事が自信になり、さらに充実させていこうという気運が高まった。

改善の指摘のあったところは落胆もしたが、真摯に受け止め、できるところからスモールステップで改善してより良い園にしていこうという前向きな思いになれた。

取り組みを通して職員が一丸となれた。

第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。